

糖尿病は歯周病を増悪させます

糖尿病は糖代謝異常による代謝疾患で、歯周病は細菌が起こす慢性炎症です。高血糖になると、血管の基底膜やコラーゲン線維の代謝が低下し、細い血管が障害されて、細菌に対する抵抗力が弱くなります。さらに、血中の過剰なブドウ糖が蛋白質と結合して歯周組織に不可逆的な変化を起し、歯周病を進行させます。このように、糖尿病と歯周病は密接に関係があり、歯周病は糖尿病の**第6の合併症**とされています。

歯周病は患者さんから咀嚼に必要な歯を奪い、糖尿病治療の基本となる食事療法に大きく影響します。歯が少なくなると、脂肪分、炭水化物が多い軟らかいものを食べるが多くなり、毎日食べてもらいたい野菜、海藻、きのこ類が食べにくくなるのです。

歯周病治療が糖尿病の症状を改善するという報告があります。歯周初期治療後も歯肉の発赤・出血・辺縁部の腫脹の改善が少なく、問診でも糖尿病の有無が不明な場合、かかりつけの医師に相談するよう勧めてください。

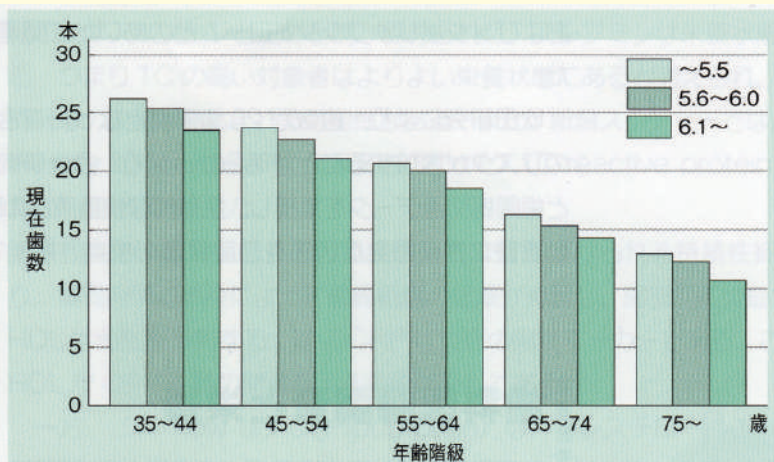
糖尿病患者では、プラークコントロールが比較的良好でも辺縁歯肉の炎症があります。



血糖コントロールが比較的良好な患者の歯肉



血糖コントロールが良好でない患者の歯肉



年齢階級、性、自治体規模、仕事、歯ぐきの自覚症状、歯科保健行動（歯間部清掃、歯石除去・歯面清掃、歯磨き個別指導、歯科健康診査）、喫煙状況を調整して現在歯数の平均値を算出。

安藤雄一(分担研究者):平成20年度厚生科学研究補助金(医療技術評価総合研究事業)地域住民の口腔保健と全体的な健康状態の関係についての総合研究.2009.

HbA1c が高いほど喪失する歯が多くなります。

※ HbA1c:ヘモグロビンと血液中のブドウ糖が結合したもので過去1~2ヶ月の血糖の動きを反映する。
平成21年11月、日本糖尿病学会は6.1%以上を糖尿病とする診断基準の改訂案を公表した。